

## 中国地方下水道ビジョン策定に関する調査

全体期間

2003.12～2004.3

## (目的)

平成15年度に下水道整備緊急措置法に代わる社会資本重点整備法が制定されたことに伴い、「下水道整備五（七）箇年計画」は、「社会資本整備の重点整備計画」として統合され、この中で、地方ブロック別の重点整備方針を定め、事業の透明性の確保に努めながら下水道整備が進められている。

「中国地方下水道ビジョン」は、中国地方整備局、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県および広島市が中国地方の住民に対して説明責任を果たすことを目的に、今後の下水道整備・管理のあり方、中長期視点から重点化すべき分野を定めたものである。

## (経過)

「中国地方下水道アドバイザー会議」（委員：学識者、NPOの代表、行政代表等で構成）を2回開催し、中国地方の地域特性や将来像、下水道事業の現状を考慮した上で、生活環境や水環境の保全、循環型社会の構築等について下水道整備の将来像と整備目標について助言をいただくとともに、ホームページ上でビジョン原案に対する幅広い分野からの意見を伺い、中国地方の下水道事業の現状や新たな役割への対応と課題の関連を整理した。

## (まとめ)

下水道事業の現状把握と課題整理を行い、下水道整備の将来像と展開すべき方向を定め、中国地方が中期的視点から重点的に取り組むべき分野について整備目標値を設定した。

## 1. 下水道事業の現状

## 2. 下水道事業の課題

汚水の排除、雨水の排除、公共用水域の水質保全・改善、下水道資源の有効利用、下水道施設の維持管理、下水道広報について、現状と課題を整理した。

## 3. 下水道整備の将来像

快適で魅力ある生活の実現、安全で誰もが安心して暮らせる地域づくり、瀬戸内海などの美しく豊かな水環境の保全と再生、資源の利活用による循環型社会の構築について、将来像を明らかにした。

## 4. 今後の下水道整備

汚水処理の普及促進、浸水対策の推進、閉鎖性水域の水質保全・改善、合流式下水道の改善、下水処理水の有効利用の推進、下水汚泥の減量化・リサイクルの推進、下水道空間の積極的な活用、下水道施設の適正な維持管理と計画的な改築・更新、連携・協力による下水道整備の推進について方向性を示した。

## 5. 中期的視点から重点的に取り組むべき分野

共通（中国地区全体）、都市部、地方部、閉鎖性水域毎に取り組むべき分野を明らかにした。

## 6. 下水道事業の整備目標値

下水道処理人口普及率、都市浸水対策達成率、高度処理普及率、合流式下水道改善率、下水汚泥リサイクル率について目標値を定めた。

国土交通省中国地方整備局建政部からの受託研究

研究担当者：高橋 隆一、桐原 隆、松田 博希、伊藤 貴浩

キーワード

下水道ビジョン、中国地方、水環境、循環型社会